

令和元年 6月 11日  
秋 田 大 学

## 国際資源学教育研究センターが「持続可能な国際資源学 ショートステイプログラム 2019」を開催 -8 か国から 18 名の学生を受入れ秋田で研修-

秋田大学（学長：山本文雄）国際資源学教育研究センター（ICREMER）（注1）は、7月1日（月）～26日（金）の日程で、「持続可能な国際資源学ショートステイプログラム 2019」を開催します。

本プログラムは、資源の持続可能な開発・利用に資する人材の育成を目的として、本学国際交流協定校の学生に秋田での4週間の短期研修を提供するプログラムです。期間中は、資源学の広範な領域を網羅した集中講義のほか、秋田県内の製錬所、鉱山跡地、資源リサイクル施設、地熱発電所等を巡るフィールドトリップ、さらにこれらを通じて得られた知見をもとに個人研究を計画・実践する力を養うためのチュートリアル（実験演習）を行います。

第9回目となる今年度は、8か国9大学から合計18名の学生が参加します。プログラム初日の7月1日には、下記のとおり開講式を執り行いますので、ぜひ取材をご検討ください。

### 【開講式概要】

- 1. 日 時**：2019年7月1日（月）13:30～14:15  
（※当日は13:15までに下記会場にお越しください）
- 2. 会 場**：秋田大学本部管理棟3階第一会議室  
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
- 3. 出席者**：学長 山本文雄  
国際資源学教育研究センター長 長縄成実  
国際資源学教育研究センター教員  
プログラム参加学生 18名（以下の大学から各2名）  
バンドン工科大学（インドネシア） モンゴル科学技術大学（モンゴル）  
ヤンゴン大学（ミャンマー） フィリピン大学デリマン校（フィリピン）  
チュラロンコン大学（タイ） カセサート大学（タイ）  
ボツワナ大学（ボツワナ） 東カザフスタン工科大学（カザフスタン）  
ベオグラード大学ポール校（セルビア）



#### 4. 次 第 :

- 1) 開会挨拶
- 2) 学長挨拶
- 3) 秋田大学関係教員の紹介
- 4) 参加学生の自己紹介
- 5) 学長と参加学生の懇談
- 6) 写真撮影
- 7) 取材質疑応答
- 8) 閉会

※取材をご希望の場合は、【6月30日（日）15:00】までに下記問い合わせ先までお知らせ願います。

#### 【プログラムのこれまでの主な成果】

本プログラムでは、2011年の第1回開催以降、これまで約100名の国際交流協定校の学生を受け入れてきました。過去の参加者の中には、正規の留学生として再び本学に戻ってきた者や、自国で大学教員や公務員として活躍している者等も出ており、本プログラムで構築された「絆」は、プログラムの枠を超えた人材育成・国際交流へと発展しています。

#### 【注1：秋田大学国際資源学教育研究センター（ICREMER）について】

本学の歴史は、地下資源探査・開発の技術者養成を目的として1910年に設立された秋田鉱山専門学校に始まり、その後100年以上にわたり日本の資源学の教育・研究において主導的な役割を果たしてきました。本プログラムを主催する国際資源学教育研究センター（International Center for Research and Education on Mineral and Energy Resources：略称ICREMER）は、その長年の実績を礎に、国際社会の持続可能な資源開発と資源確保に資することを使命として2009年に設立された全学センターです。

#### 【本件に関する問い合わせ先】

秋田大学国際課（担当）大坂

電話：018-889-2810／FAX：018-889-3012

Email：sigen@jimu.akita-u.ac.jp